

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

新年度に入り早くも1ヶ月が経過いたしました。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

愛知県議会では、5月下旬の臨時議会において今年度の所属委員会や役職が決定するため、現在はその最終取りまとめの真っ最中である事から、一期生の私としては比較的時間に余裕もありましたので、群馬県の高校教育改革・茨城県の広報戦略・東京都世田谷区の地域包括ケアシステムについて、先日調査に行っていました。

特に茨城県の広報戦略については、民間調査機関が2009年から発表している、いわゆる「都道府県魅力度ランキング」において、茨城県は2012年を除き全て最下位という結果にある事から、株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシーに委託し、「なめんなよ♥いばらき県」をスローガンに積極的な広報活動を行い、マスコミ等にも広く取り上げられ、15億円余の宣伝効果が得られたと同時に、県民の愛着度も向上しているとの事でありました。

また、愛知県の魅力度ランキングは現在16位であります。よくよくランキングを見直すと、栃木県41位・群馬県44位・埼玉県45位と、北関東圏がこぞって低位にあり、これらの県は公共交通機関で東京と1時間以内で結ばれている事から、まさにストロー現象により、人・モノ・情報の全てが東京に吸い取られている事を如実に表しており、北関東各県の本来の実力を評価されていないと感じた次第であります。

現在、愛知県では2027年のリニア中央新幹線開業に向け、リニアインパクトを最大限に活用できるよう、県内ネットワーク充実等の検討を行っていますが、中京大都市圏づくりに向けて、国内外への情報発信力強化も重要課題の一つであると痛感させられました。



愛知県議会議員

こたま よしかず
樹神 義和

